

長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWSLETTER

Vol.
43- おもやり通信 -
2021.2

第5回 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞授与式及び受賞者研究発表会

「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」は、優れた研究結果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的としています。第5回となる本年は、公募期間を令和2年7月1日から8月28日とし、選考委員会において慎重に選考を行い、受賞者を決定しました。

受賞者研究発表会および授与式は、令和3年1月8日、文教キャンパスにおいて執り行いました。出席者21名で、報道機関からの取材もありました。受賞者と研究発表の演題は以下の通りです。

【優秀女性研究者賞】

総合生産科学域(工学研究科) 准教授 源城かほり

(研究発表)

「住宅における快適性・健康性を考慮した省エネルギー手法の提案とオフィスにおける室内植物のメンタルヘルスケア効果に関する研究」

【優秀女性奨励賞】

原爆後障害医療研究所 助教 松瀬美智子

(研究発表)

「甲状腺癌の悪性度の違いを規定する分子メカニズムについての研究」

【優秀女性奨励賞】

病院 医療教育開発センター 講師 松島加代子

(研究発表)

「研修医教育におけるメンター制度の変遷と長崎大学病院の現状」



(左から松島加代子講師【優秀女性奨励賞】、永安武理事、源城かほり准教授【優秀女性研究者賞】、横町直明理事、河野茂学長、福永博俊理事、松瀬美智子助教【優秀女性奨励賞】、吉田ゆり副学長)

文教おもやり保育園 運営業務委託業者が変わります

令和3年4月1日より文教キャンパス内「文教おもやり保育園」の運営業務をいたします委託業者が、有限会社ウェル様から社会福祉法人おおぞら様に変更することになりました。

文教おもやり保育園の運営方針として、これまで通り保護者の皆様のワーク・ライフ・バランスの実現を第一の目標としております。保育園が学内にあることで、安心して大学の運営の業務、研究・教育に取り組んでいただくことを目指しております。

本保育園は、本学教職員のお子様をお預かりする保育園です。**非常勤・有期雇用**の方のお子様も入園できます。入園児を随時募集しています。

☆令和3年度保育園定員☆

0 歳児 — 7 名	1 歳児 — 8 名
2 歳児 — 8 名	3~5 歳児 — 14 名

乳幼児期は、人間にとって人生の始まりの時期。人生の土台を作る重要な時期です。まさに、根っこを張り巡らせる時期なのです。土台や根っこがしっかりしていなければ、大きく育つことはできません。生活のリズムを作ること、食べること、遊ぶことを大切に、ひとり一人の魂に響く保育を目指します。



大学病院の働き方改革シンポジウム 開催します！！

コロナ禍で医療現場の過酷さ、離職者の増加が浮き彫りになり、医療現場での働き方改革の重要性はこれまで以上に増えています。2024年4月から施行予定の医師の働き方改革に向け、2020年度長崎大学病院3チームの働き方改革の取組成果の発表をはじめ、他病院の取り組みを紹介します。

みなさまのご参加をお待ちしております。

【日時】令和3年3月20日(土) 10:00-12:10
【形式】オンライン(zoomウェビナー)

【申込はこちら】



今年度取組チーム

・形成外科 ・産科婦人科 ・外傷センター



ダイバーシティ推進に関する満足度調査報告 【介護編】

昨年9月に全教職員を対象に実施した調査の結果より介護に関して、結果の一部をご紹介します(調査方法:Web上調査等、有効回答数1149(回収率24.6%)。)

「介護を行うことになった場合、現在の職場で仕事を続けることができると思うか」という質問に対して「続けられないと思う」「わからない」と回答した人は全体の約80%でした。特に、その他の職員の女性・その他の方では、その割合が高い傾向がみられました。

図表3-2: 介護を行うことになった場合、現在の職場で仕事を続けることができると思うか

		回答割合			
		当面、続けられると思う	続けられないと思う	わからない	無回答
教育職員	男性	32.0%	39.2%	28.9%	
	女性・その他	27.2%	44.1%	28.7%	
	合計	30.0%	41.2%	28.8%	
その他の職員	男性	27.8%	27.1%	45.1%	
	女性・その他	11.5%	52.8%	35.1%	0.6%
	合計	14.4%	48.2%	36.9%	0.5%
合計		18.5%	46.8%	34.4%	0.3%

「続けられないと思う」「わからない」と回答した理由は「介護を理由に仕事を休む、勤務時間短縮をするのは困難」(全体の48.2%)、「なってみないと分からない」(同43.4%)、「仕事と介護の両立で身体的にダメージを受けるから」(同34.8%)が多くあげられました。特に女性・その他においては「仕事と介護の両立で身体的にダメージを受ける」、「仕事と介護の両立で精神的にダメージを受ける」への回答が男性よりも多くみられました。介護自体のイメージとして心身共に大きな負荷がかかると考えている女性が多いことが考えられます。また介護は主として女性がするものという認識をもつ傾向が高いことが推測されます。

近年は家事や育児は性別に関わりなく行われるようになってきていますが、介護においても同様になるように、当センターは活動、支援等を行っています。

女性研究者サポートオフィス【ご案内】

ダイバーシティ推進センター内に、女性研究者・女性教職員サポートオフィスを開設しています。これまで実施してきた女性研究者支援に新たにサポートプログラムを加え、研究活動や心理面からサポートします。具体的には以下の取り組みを行っています。

- ・英語論文等作成支援
- ・英語論文執筆・プレゼン支援
- ・海外派遣支援
- ・若手研究者の育成
- ・女性研究者ネットワーク
- ・未来に羽ばたく女性研究者賞
- ・相談窓口(キャリア相談)



女性研究者の
上位職登用・研究力向上・若手の育成
の土台づくりをサポートします。

日頃よりダイバーシティ推進センターの運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。センター職員一同、今後も力を尽くして参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

長崎大学女性研究者「ロールモデル集V」発行

平成27年度に長崎大学女性研究者「ロールモデル集IV」を作成しましたが、今年度新たに「ロールモデル集V」を作成しました。

本ロールモデル集では、海外留学、海外派遣等の経験をとおして活躍している研究者を中心に、女性研究者サポートプログラムを利用してさまざまな分野で活躍している女性研究者の方々にインタビュー・座談会において、海外派遣がご自身のワークとライフにどのような影響がもたらしたのか、上位職を目指すきっかけになったことなどについてまとめています。

【貸出用】図書・DVD 入荷しました



DVD

HPからもご覧ください。

【QRコードはこちら】

「ほげますから、よろしくお願ひいたします。」
離れて暮らす両親の老々介護生活を見つめた
テレビ・ドキュメンタリーの劇場版(2018年)
信友直子監督



図書

上野千鶴子/著「おひとりさまの最期」(朝日新聞出版)
石井遼介/著「心理的安全性のつくりかた」(日本能率協会マネジメントセンター)

【編集・発行】国立大学法人 長崎大学 ダイバーシティ推進センター
(愛称:おもやいセンター)

〒852-8521 長崎市文教町1-14
TEL:095-819-2889 FAX:095-819-2159
E-mail: omoyai@ml.nagasaki-u.ac.jp HP: https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp